

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



毎年7月は「県産品奨励月間」・10月は「沖縄の産業まつり」です。

未来の目指すべき
ビジョンへ向けて発進。

- 「元気カンパニー」(株)東海精機沖縄工場
- 平成28年度沖縄公庫フォーラム
- 学校と産業界の交流事業
- 故サムエル・C・オグレスビー氏 工業功労者賞

2017
2月号

Vol.627

郷土の資源で郷土をつくる

琉球セメント

本社：沖縄県浦添市西洲2丁目2番地2

TEL 098-870-1080 (代表)

工場：沖縄県名護市字安和1008番地

TEL 0980-53-8311 (代表)

<http://www.ryukyucement.co.jp/>



株式会社 紅濱

〒901-2123 沖縄県浦添市西洲2丁目2番地2

0120-55-1024

TEL 098-870-1150 FAX 098-870-1079

<http://www.benihamashop.jp/>

詳しくはホームページをご覧ください。

紅濱

検索



月刊 工連ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS

2017年2月号 Vol.627

- 2・3p** キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」FAトータルシステムエンジニアリングメーカーとして、あらゆる業界の自動化ニーズに応える
株式会社 東海精機 沖縄工場
- 4p** ものづくりネットワーク沖縄 現場視察・意見交換会
- 5p** 沖縄県衣類縫製品工業組合新年会
- 6・7p** 平成28年度 学校と産業界の交流事業
オキコ株式会社 渡久山秀治 取締役部長
株式会社トリム 新城 博 代表取締役会長
- 8p** 平成28年度 沖縄公庫フォーラム
- 9p** 海外知的財産活用講座
絶対知っておきたい!
中小企業の海外展開セミナー
~知財面と経営面から~in那覇
- 10p** 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
2016年12月 工学部後援会主催
キャリア形成支援セミナー実施報告

- 11p** 沖縄高専だより
平成28年度
沖縄工業高等専門学校教育・研究
情報交流会を2月に開催します
平成28年度 採用教員紹介
- 12p** 沖縄職業能力開発大学校
沖縄ポリテックビジョン2017
開催のごあんない
- 13p** 工業技術センターだより
工業技術センター技術のご紹介
- 14p** 「オグレスビー氏工業功労者賞」
候補者の募集について
- 15p** 沖縄子どもの未来県民会議
- 16p** 沖縄でのものづくり・
物流事業を支援します!
内閣府

2017年 1月 工連日誌

- (4日(水)) 執行部年始挨拶回り
●時間／13:00～15:00 ●場所／県・マスコミ等12カ所
- (11日(水)) 1月定例執行部会
●時間／12:00～13:30 ●場所／工連会議室
- (17日(火)) 第18回学校と産業界の交流事業
●時間／3:50～14:50 ●場所／浦添市立沢崎小学校

- (20日(金)) 工連青年部第3回常任委員会
●時間／16:00～17:00 ●場所／工連会議室
- (27日(金)) 第19回学校と産業界の交流事業
●時間／10:30～12:00 ●場所／(株)トリム工場

知財総合支援窓口運営業務

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

相談
無料秘密
厳守

個別対応のため予約が必要です

ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口に常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの掘り起こし
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆さまの特許、実用新案、意匠、商標、著作権等に関するご相談を無料でお受けしております。

※ご相談いただいた内容が第三者に知られる事はありません。

※詳しい日時に關してはお問合せください。



- うるま窓口(うるま) 毎週 月～金(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(那覇) 毎週 火・水(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(名護) 毎月 第4火曜日/9:00～17:00
- 外部窓口(宮古) 奇数月 第4金曜日/10:00～17:00
- 外部窓口(八重山) 偶数月 第4金曜日/10:00～17:00

全国共通お問い合わせ先



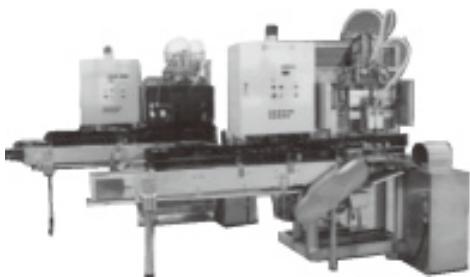
0570-082100 (有料) TEL 098-995-8778 ■独立行政法人 工業所有権情報・研修館事業 / 実施：一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見を希望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail://info@okikouren.or.jp ホームページ//http://www.okikouren.or.jp発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193

編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

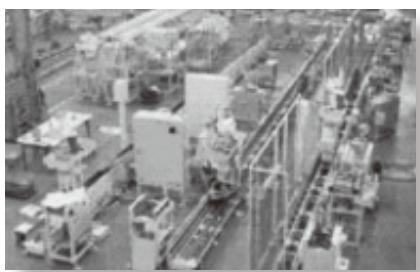
トーカイのFAシステム



●缶用ビール回収システム



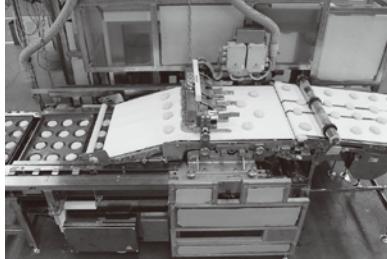
●レトルトパウチ用トレー詰めシステム



●カムプレートM/C間搬送装置(ロボットタイプ)



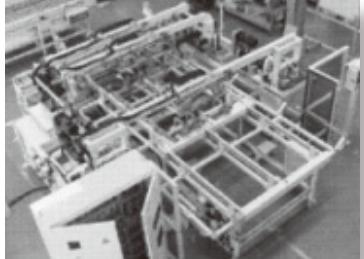
●パートフィーダー



●パン生地トレー詰め装置



●製菓品供給用旋回フィーダーシステム



●ドア枠端面加工装置

キラリ!
元気
カンパニー沖縄の未来を
照らす企業FAトータルシステムエンジニアリングメーカーとして
あらゆる業界の自動化ニーズに応える

株式会社東海精機沖縄工場

沖縄工場新設・独立事業化に向け
東南アジアに対しての
「FAシステムメーカー拠点造り」を目指す

株式会社東海精機は昭和47年創業以降、45年間に亘り全ゆる産業に対するFAシステム造りを目指して、量産工程の自動化・省力化を実現するための設備を開発しています。自動車・自動車部品・鍛造・熱処理、工作機械・専用機メーカー、食品・飲料・医薬品から住宅建材、日用雑貨品、JA関連等、幅広い業界に精通し、全ゆる市場に対してオリジナルFAユニット、FAシステムを提供。開発から設計、製作、アフターフォローにいたるまですべてを担つことにより、「FAトータルシステムエンジニアリングメーカー」として強い信頼を得ています。

三重県に本社を持ち、全国に8営業拠点を拡大しています。さらなる飛躍発展を目指して、平成32年9月末日を最終年度とした「新5ヶ年事業計画」を推進中です。又、本社工場近郊の鈴鹿山麓に新本社工場建設とそれに伴う全面移転計画を推進中です。この事業計画の一環として、平成25年11月にうるま市経済特区に沖縄工場を新たに創業致しました。

沖縄県に工場を新設した目的、目標として、沖縄工場顧問岩澤光男氏は「将来、経済

市場拡大と沖縄工場生産拡充を視野に入れている事、又、沖縄県出身者による沖縄工場の自立化の夢が満たされる事」を目指すとしております。

塩害・湿氣の多い環境下、食品、菓子、飲料等ステンレス素材を使用する工場が多く、ステンレス加工を主に扱う東海精機は沖縄創業からわずか3年で県内60社以上のお客様に対し取引実績を実現致しました。

一方、設計・製造のみならず、商事部門として一流メーカー品のFA部品・ユニットの販売も手掛けており、県内に工場を持つことでクイックレスポンスの対応も可能となりました。更に、沖縄工場のスタッフは全員が沖縄県出身者で構成されており、ユーザーとの信頼関係も確固たるものになりました。

沖縄工場創業当初は本社で受注した製品の製造を担当することがほとんどでしたが、現在では商事部門、FA設計部門もまたがり、益々沖縄工場の重要性が高まっています。「いざは営業・設計・製作からすべてを沖縄工場単独で実施し、「沖縄オリジナルFAシステムを設計・製作、並びに商

事販売を含めて全てを沖縄工場独自で展開したい」と大きな目標を掲げています。

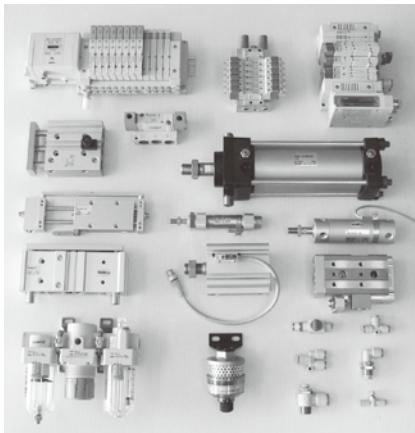


●沖縄工場 商事営業グループ(営業活動)

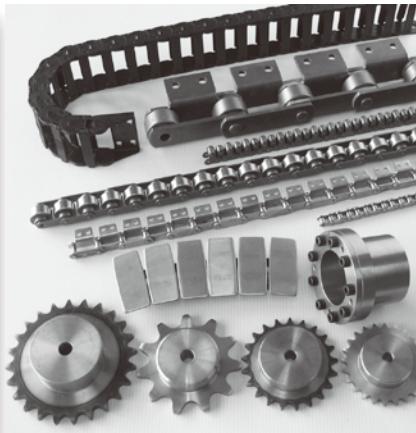


●沖縄工場 製造グループ(ボウル加工)

商事グループ取り扱い商品



●SMC



●TSUBAKI



●沖縄工場 設計グループ(機械設計)

“社の基本理念” 「立派な社会人の形成」こそが 企業としての最終目標

東海精機の「創業の基本理念」は「社業を通じて立派な社会人の形成を目指す」にあり、技術面のみならず、精神面においても立派な社会人を有言実行する事を目指しています。

すべての社員が、入社して直ちに基盤研修を受けることが義務づけられており、沖縄工場勤務要員であっても平均3年間程度の本社研修・実習が求められます。研修期間中は社員寮で先輩や同僚と生活をともにすることで、社会人として必要なマナー、常識を身につけます。熟練の先輩・上司よりノウハウ・技術を取得し、営業スタッフはビジネスマナーとセールスノウハウを学びます。現在も沖縄県出身者約10名が本社研修中であり、研修終了後には希望通り、地元沖縄工場で勤務することを目指しております。

「沖縄の優秀な学生たちが県外に流出してしまう」とが問題視されており、優秀な若者を沖縄で雇用し、本社で経験を積んで地元に戻すことで、沖縄県全体に対しても貢献できる」とし、現在、沖縄工場では15人が就業し、今春はさらに3名増員予定とのことです。

「社会に役立つ人間を育成することは企業の責任であり、結果的に東海精機の発展にもつながる」と岩澤氏は話す。人材育成こそさらなる躍進の「礎」と考えております。

平成32年度をゴールとした「新5ヶ年計画」は、ほぼ、予定どおり進行中であり、年間売上高は前年比15%UPの達成見込み、新たに福岡、広島、仙台に営業所・出張所を開設予定であり、「営業拠点の充実と人材の強化」を目指します。沖縄工場は本社工場と共に「今後も各事業部別にプロフェッショナルな人材育成と、ユーザーのニーズに応えるべく自動化省力化システムを造り続けてゆきたい」と岩澤氏は話す。本年、「創業満45周年」を迎える東海精機は、更なる発展と「沖縄工場にて技術革新を推進させ、地元企業に貢献出来る」様、一致団結邁進していく事を誓つております。

株式会社東海精機沖縄工場

●業種

〈機械製造業〉

あらゆる産業の量産工程における自動化、省力化装置システムの設計・製作・販売並びにFA一流メーカー品の特約販売

●創業

本社／昭和47年3月2日(創業満45周年)
沖縄工場／平成25年11月6日

●代表者

代表取締役社長 土井直博

●住所・連絡先(沖縄工場)

うるま市勝連南風原5192-32

TEL.098-923-2215

FAX.098-923-2181

Corporate Profile



ものづくりネットワーク沖縄 現場視察・意見交換会

平成29年2月1日(水) ものづくりネットワーク沖縄

沖縄県工業連合会吳屋守章会長をはじめとする役員が2月1日(水)うるま市のものづくりネットワーク沖縄を訪問し、設備の視察と意見交換会を行いました。

一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄はものづくりに関する優秀なエンジニアを育成し、沖縄県の製造業の活性化を図るために、経済的に自立した沖縄県の発展に寄与することを目的に設立。寸法の評価や様々な物体の輪郭や形状データを取得できる3次元測定機や棒状マグネシウム合金をシリンドラーで溶解させ金型に射出するマグネシウム射出成形機等の機械設備を備え、金型関連技術をはじめとする様々な研究に取り組んでいます。

近年特に力を入れているのが、沖縄県産の電気自動車開発であり、沖縄の気候や風土に合い、地域の「コミュニティ、観光施設で利用可能な「コミュニティEV」を提案しています。「沖縄県内の自動車整備工場で製造し短距離用途で使う、地域に根ざした移動体」として、ガソリンを使用せず環境にやさしく利便性、デザイン性とともにすぐれた沖縄生まれのまったく新しい」と謝辞を述べました。

しい電気自動車開発を進めています。

視察に参加した工連の役員らは、現在うるま市において採用されている「コミュニケーションEV」、カヌチャリゾート等の観光施設で使用されているトロリーバスや8人乗りの「コミュニケーションEV」、一般道走行も可能な一人乗り小型電気自動車「マイクロEV」を視察。実際に試乗し、車長は、「思っていた以上に滑らかで乗り心地もすばらしい。これから沖縄観光の目玉として期待できる」と感想を述べました。

視察後には沖縄県工業連合会とともに

ものづくりネットワーク沖縄による意見交換会の場も用意され、より具体的な電気自動車開発案や県内での普及について

意見が交わされ、コスト削減やわかりやすいPR方法について活発に議論されました。

ものづくりネットワーク沖縄代表理事

金城盛順氏は「多くの意見を聞くことができて有意義だった。今後も互いに連携を強めて沖縄県経済発展のため尽力したい」と謝辞を述べました。



(公社) 沖縄県工業連合会
吳屋守章 会長

(一社) ものづくりネットワーク沖縄
金城盛順 代表理事

沖縄県衣類縫製品工業組合新年会

平成29年1月13日(金) 沖縄ホテル



沖縄県衣類縫製品工業組合 大城英幸 代表理事



(公社)沖縄県工業連合会 桑江 修 専務理事



沖縄県衣類縫製品工業組合の2017年新年会が那覇市の沖縄ホテルにて開催されました。同組合では例年年末に忘年会を行っていますが、慌しい師走を避け、今年は年明けの新年会となりました。

大城英幸代表理事は主催者を代表して新年の挨拶を述べ、昨年一年間を振り返って、「長袖かりゆしウエアの着用促進に力を入れ、各地で販売会やPRキャンペーントを積極的に展開した。その甲斐あ

り、冬にもかりゆしウエアを着用するという新しい常識が少しずつ認知されてきたように思う。今後はさらなる周知・普及に努めたい」と、会員の労をねぎらい、関係者への感謝を表しました。

沖縄県工業連合会からは桑江修専務理事が代表してスピーチし、乾杯の挨拶を務めました。桑江専務理事は「かりゆしウエアは現在では国内のみならず海外にも認知が広がっている。ここまで知名度が

上昇したのは沖縄県衣類縫製品工業組合の長年の努力あってこそ」として、組合への敬意をあらためて表しました。

会場にはその他にも沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合、沖縄観光コンベンションビューローといったとともにかりゆしウエア普及を推進する団体や関連企業、沖縄県から多くの参加者が足を運び、新年の幕開けにふさわしい華やかな会となりました。



産業界の交流事業



**【講師】オキコ株式会社
渡久山秀治 取締役部長**

平成29年1月17日(火)浦添市立沢崎小学校



子供たちの将来の夢にエールを贈る、渡久山氏



パンの製造工程についてのビデオ上映に真剣な眼差しの子供たち

子供たちの地場産業への関心を高め、県産品への理解を深めることを目的として開催した「学校と産業界の交流事業」。今回はオキコ株式会社取締役部長渡久山秀治氏が浦添市立沢崎小学校を訪問し、約100名の6年生を対象に、会社の成り立ちや業務内容、自身の体験を活かした職業への向き合い方等について講演しました。

オキコ株式会社ではパンや麺、菓子等様々な商品を製造しており、毎日食卓に上る馴染み深い商品が多く、子供たちも関心を持つて講演に耳を傾けていました。パンが焼き上がりトラックで出荷されるまでの工程をわかりやすく伝えるビデオが上映されると、巨大な

機械がパンの原料を混ぜ、パンがふつくらと焼けていく映像に釘付けになつていたようでした。

渡久山氏は、「食品に関連する仕事に興味を持ち現在の会社に入社した」と話す、「これから沖縄を支える子供たちに対し、「社会に出ても、自分の好きな仕事に就いても勉強は一生続いていきます。今学校でしている勉強は、将来に向けた基礎を養っています。学校の勉強が好きでなくとも、自分が興味のある事に繋がっていると思えば一生懸命頑張れる。自らの将来の夢を見つけ、目標に向かって努力してほしい」とエールを送りました。また、「目と目を合わせてしっかりと朝の挨拶を交わすことでお

互いのその日の心身の状況がわかる」と、実際に子供たちと挨拶をする等交流を深めながら挨拶の重要性についてもわかりやすく伝えました。

子供たちからも積極的に質問が飛び、「今まで作った商品のなかでもども思っているのは」「どのパンが一番おいしいと思うか」といった子供ならではのユニークな質問に渡久山氏はひとつひとつ丁寧に答えていました。

講演後には子供たちから渡久山氏にお礼の品が贈られました。渡久山氏からも子供たちに人気のステイックパンがプレゼントされ、パンを受け取った子供たちは大喜びしていました。



平成28年度 学校と



【講師】株式会社トリム
新城 博 代表取締役会長

平成29年1月27日(金)那覇市立さつき小学校



同社の玉那覇 育取締役事業本部長からも、興味深い説明がありました。



工場見学のほか、映像での同社事業内容の説明もありました。

工業連合会が社会貢献と人材育成の観点から例年行っている「学校と産業界の交流事業」では、会員企業の経営者・役員が講師となり、未来を担う子供たちを対象に、ものづくりのすばらしさや仕事の意義をテーマに、依頼のあった学校内の教室や体育館を使用して講演を行っています。

今回は実際に製造を行う現場で工場見学をすることで、よりものづくりや製品を身近に感じてもらおうと、南城市の株式会社トリムの工場に那覇市立さつき小学校5年生約40名を招待しました。

株式会社トリムの未利用資源リサイクル工場では、処理が困難とされているガラス瓶を色に関係なく効率的にリサイクルすることができ、ガラスを処理してできる人工軽石(スーパーソル)は道路や学校等様々な場所で使用されています。

工場には県内各地から集められたガラス瓶が専用の機械に入れられ、細かいガラスの粉になり、発泡添加剤と混合し高熱で焼くことでスーパーソルが完成します。その工程を見学した子供たちは、はじめて見る機械の迫力に圧倒されたようでした。

代表取締役会長新城博氏は、飲食業からリサイクル業まで幅広く手がけ

てきた経験から、子供たちに対して、失敗を恐れず目標に向かって邁進することの大切さを説きました。「苦労という種をまき、努力という肥料を注げば、いずれ満足の花が咲く」という新城氏の言葉に、子供たちは真剣に耳を傾けていました。

講演の最後には、子供たちひとりひとりにスーパーソルの欠片が贈られ、子供たちはバケツに入ったガラス瓶と見比べながら、「ゴミだったガラスがまったくがう形になつてまた社会の役に立つなんて」と感動の声を上げていました。



ガラス瓶の再利用について学ぶ子供たち



フォーラムのようす

沖縄振興開発金融公庫の主催によるフォーラムが2月3日那覇市のダブルツリービューヒルトン那覇首里城で開催されました。

沖縄経済は堅調な観光需要拡大に牽引され好調を維持しているものの、一方では新たなインフラ整備の必要性や人材確保といった課題も多く抱えています。また、企業を取り巻く環境に即したリスク管理も求められます。

これらの状況を踏まえて行われたフォーラムでは、株式会社価値総合研究所執行役員パブリックコンサルティング第4事業部長山崎清氏、株式会社エス・ピー・ネットワーク総合研究室主席研究員西尾晋氏を招き、それぞれに沖縄の経済環境を踏まえた企業経営、コンプライアンス・リスク管理の最前线について講演しました。

山崎氏は「沖縄県経済は近年好調ではあるが、持続可能性に課題が多い」とし、「継続的に発展させるためには所得循環構造の構築が急務」と警鐘を鳴らしました。西尾氏は数々の企業の

コンプライアンス・リスクマネジメントをかけてきた経験から、「時代とともに価値も変化する。危機感を持って取り組むべき」と、危機管理の重要性を説き

平成28年度沖縄公庫フォーラム

平成29年2月3日(金)

沖縄振興開発金融公庫の主催によ

るフォーラムが2月3日那覇市のダブルツリービューヒルトン那覇首里城で開催されました。

沖縄経済は堅調な観光需要拡大に牽引され好調を維持しているものの、一方では新たなインフラ整備の必要性や人材確保といった課題も多く抱えています。また、企業を取り巻く環境に即したリスク管理も求められます。

これらの状況を踏まえて行われた

フォーラムでは、株式会社価値総合研究所執行役員パブリックコンサルティング第4事業部長山崎清氏、株式会社エス・ピー・ネットワーク総合研究室主席研究員西尾晋氏を招き、それぞれに

ました。

主催者を代表して挨拶した沖縄振興開発金融公庫川上好久理事長は、「本日のフォーラムにより、企業経営、地域活性化、企業リスク管理について多面的な情報提供ができます」と話

し、「これまで様々な企業の相談に応じてきたノウハウを活かして迅速かつ真摯に対応することで沖縄経済発展に寄与するのが沖縄振興開発金融公庫の役目」と、公庫の活用を促しました。

講演終了後には交流会も行われ、沖縄振興開発金融公庫理事・役員、ゲスト講師をはじめ多くの参加者が情報交換しました。



沖縄振興開発金融公庫
川上好久 理事長



株式会社価値総合研究所
執行役員
パブリックコンサルティング
第4事業部長 山崎 清氏



株式会社エス・ピー・ネットワーク
総合研究室主席研究員
西尾 晋氏

懇親会のようす



海外知的財産活用講座 絶対知つておきたい！中小企業の海外展開セミナー ～知財面と経営面から～in那覇

平成29年1月10日(火)

独立行政法人工業所有権情報・研修館主催による海外展開セミナーが1月10日沖縄産業支援センターで開催され、現在様々な場所で注目を浴びている知財に関するセミナーとあって、年明けにも関わらず多くの参加がありました。

中小企業の海外進出が活発化している中、進出先において、技術・情報の流出や知的財産権の先取りといったトラブルが増加しています。また、現地のビジネス環境調査や経営におけるリスクマネジメントは経営上必要となっています。

セミナーでは、海外進出を検討している、あるいは、すでに海外展開をしている中堅・中小・ベンチャー企業等を対象に、知的財産の専門家による講演と知財に関連する各種支援サービスの紹介を行いました。

講師を務めた独立行政法人工業所有権情報・研修館海外知的財産アドバイザー植木泰弘氏は、企業での豊富な知財経験を有する知財のスペシャリストであり、海外ビジネス展開と知的財産について、実際の事例を挙げながら解説。情報の取り扱いや商標登録、

契約内容へ注意喚起しました。

また、共催の独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所からは国際化支援アドバイザー滝沢秀一氏が中小企業の海外展開プロセスと海外リスクマネジメントについて解説しました。中小企業基盤整備機構においても、海外展開を目指す事業所を対象に検討段階から現地への進出までサポートしており、海外展開以外にも、沖縄の豊富な地域資源等を活用した新商品、新サービスの開発・販路拡大等幅広く支援しています。

さらに、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県知財支援窓口（沖縄県発明協会）でも海外展開支援、知財総合支援を行っています。

植木氏は、「国内での需要低迷や海外での需要増加といった様々な要因で海外進出を希望する企業は多いが、情報、人材、資金不足からブランド管理、知財保護まで課題も多く、それらの悩みを解消して業務拡大を図るためにも、各支援機関のプログラムをうまく活用してもらいたい」と支援制度や窓口の利用を促しました。



独立行政法人
工業所有権情報・研修館
海外知的財産アドバイザー
植木 泰弘氏



独立行政法人
中小企業基盤整備機構
沖縄事務所国際化支援アドバイザー
滝沢 秀一氏



一般社団法人沖縄県発明協会
窓口支援担当
本藤 勉氏



内閣府沖縄総合事務局
経済産業部商務通商課国際室
神谷 龍氏

琉球大学工学部後援会からのお知らせ



2016年12月 工学部後援会主催 キャリア形成支援セミナー実施報告

工学部後援会事務局 玉城史朗・長田智和

琉球大学工学部後援会は、後援会会員企業による「キャリア形成支援セミナー」を、12月14日(水)に本学の地域創生総合研究棟5階を会場として開催致しました。今回はこのセミナーの開催状況についてご報告致します。

まず、今回のセミナーには、IT・情報系から11社、電気・エレクトロニクス系から4社、建設・土木系から3社、機械・エネルギー系・その他から6社の、計24社の企業様にご参加頂きました。セミナーは、企業の採用活動を伴わないものとし、学生の就職後のキャリア形成に資する講演又は座談会を各企業様に実施して頂く形式としました。学生の参加者は、延べ100名で、企業1社当たりの講演参加者は平均4.2名でした。

セミナー後のアンケートによると、まず、企業様からのご意見としては、「周知の方法などに改善が見られ、助かります。」「定期的に学生さんとのコンタクトが取れるセミナー開催を希望します。」「もう少し時間が欲しい。」等のご意見がありました。また、開催時期や実施方法についてのご意見が寄せられておりますが、企業様ごとにご意見、ご要望の内容は様々であります。教員がボランティアで事務局の運営を行っている現状では、運営人員や会場の都合もあり、全てのご意見を運営に反映させることができない点は心苦しい限りです。将来的には、事務局に専任の運営員を置くことが望まれます。

次に、学生からの意見や感想としては、「自分の知らない業種の説明を聞くことができて、新たに視野が広がった。」「成長する人や考える力、やる気がある学生を求めていたなと感じました。」「自己分析など頑張っていきたいと思いました。業界研究をやっていきたいです。」などが寄せられました。5月に実施した就職説明会と同様に、学生の参加者が少なかった分、会場ごとに丁寧な説明を受けることができ、各業界について詳しく聞くことができたという学生が多数ありました。工学部後援会主催の就職説明会と、民間のリクルート業者が運営する集団説明会の違いや、前者の優位性、意義を感じた学生が多くいたようです。



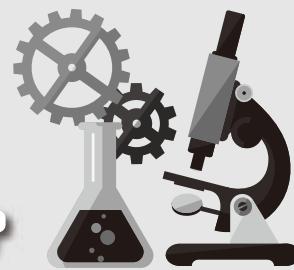
今後とも、可能な限り運営を改善し、本セミナーが学生にとっても、会員企業様にとっても有意義なものとなるよう尽力していくきます。皆様のさらなるご指導とご協力をあ願い申し上げます。

琉球大学工学部後援会事務局 (情報工学科内 玉城史朗・長田智和)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

[TEL]098-895-8720(玉城)・8719(長田) [FAX]098-895-8727(情報工学科事務室) [E-Mail]kouenkai-members@ml.tec.u-ryukyu.ac.jp

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



「平成28年度沖縄工業高等専門学校 教育・研究情報交流会」を2月に開催します

沖縄高専では、教育研究活動の活性化を図るとともに、教職員相互及び大学・研究機関等との教育研究・技術交流を推進し、本校における教育研究活動等を学内外に発信することを目的に、「平成28年度沖縄工業高等専門学校教育・研究情報交流会」を下記のとおり開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしております。

●日時／平成29年2月23日(木) 14:00開始予定

●場所／沖縄高専 講義室2-6
※「平成28年度沖縄工業高等専門学校教育・研究情報交流会」のお問い合わせは、沖縄高専総務課研究連携推進室までお願いします。

問合せ先 沖縄工業高等専門学校総務課研究連携推進室
〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4070(直通) FAX:0980-55-4012
E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp

平成28年度 採用教員紹介



きんじょう あつし
金城 篤史

役職 助教
学位 博士(工学)
所属学科 メディア情報
担当科目 プログラミング3
ネットワーキング1
ネットワーキング2

経歴

2005年3月 琉球大学 工学部 情報工学科 卒業
2007年3月 琉球大学大学院 理工学研究科 情報工学専攻 博士前期課程 修了 修士(工学)
2011年3月 琉球大学大学院 理工学研究科 総合知能工学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
2010年12月～2011年3月 琉球大学 工学部 情報工学科 技術補佐員
2011年4月～2013年3月 琉球大学 亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構 博士研究員
2013年4月～2016年3月 東北学院大学 教養学部情報科学科 CREST研究員

研究実績

博士論文：「ネットワークシステム構築技術とその応用に関する研究～情報教育・情報配信・環境工学分野における活用事例～」
H25～H26 CREST(研究員)「海洋生物の遠隔的種判別技術の開発」
H28～ 沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業(分担)
「CO2施用と冬季補光によるマンゴー増収量システムの開発」
H28～ 沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業(分担)
「水中可視光通信技術を用いた汎用性のある水中情報伝送装置の開発」(分担)

産学連携のシーズ

●農業へのセンシングネットワークの応用 ●オープンソースコミュニティとの連携



おかた ゆうた
緒方 勇太

役職 講師
学位 修士(理学)
所属学科 総合科学科

経歴

H26.3 神戸大学大学院理学研究科博士前期課程修了 修士(理学)
H29.3 神戸大学大学院理学研究科博士後期課程修了見込み 博士(理学)

研究実績

[論文等]
• Y. Ogata, Spacelike constant mean curvature and maximal surfaces in 3-dimensional de Sitter space via Iwasawa splitting, *Tsukuba J. Math.*, vol. 39, No. 2, pp259-284 (2015).
• Y. Ogata and K. Teramoto, Gauss maps of cuspidal edges in hyperbolic 3-space, with application to flat fronts, *Math. J. Okayama Univ.*, vol. 59, 93-111 (2016).
• J. Cho and Y. Ogata, Deformation of minimal surfaces with planar curvature lines, *J. Geom.*, DOI:10.10007/s00022-016-0352-0 (2016).

外部資金等

・公益財団法人交流協会 若手研究者交流事業、長期派遣研究者
(2016.10.1～11.18)

産学連携のシーズ

●離散曲面論を通じて、材料科学や建築学などの応用分野の研究者との連携を行う。

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局 (担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012
E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





ものづくり
沖縄からの発信

2月24日(金)
25日(土)



プログラム

- ①記念講演
2月25日(土) 10:00~11:00
- ②技能五輪選手による実演セミナー
旋盤 2月24日(金) 14:00~16:00
建築大工 2月25日(土) 13:00~15:30
レストランサービス 2月25日(土) 13:00~15:00
- ③大学生・高校生による研究発表
2月24日(金) 10:00~14:30
2月25日(土) 11:30~14:35
- ④大学生・高校生等による作品展示
2月24日(金) 10:00~16:00
2月25日(土) 9:30~15:30
- ⑤機械加工技術コンテスト(競技種目 旋盤作業)
2月24日(金) 9:00~11:30
- ⑥海洋ロボットデモンストレーション
2月24日(金) 13:00~13:30
2月25日(土) 15:00~15:30

2月25日(土)

記念講演

10:00~11:00 会場:体育館

定員
200名
参加無料

会場

沖縄職業能力開発大学校
(沖縄市池原2994-2)

講演テーマ

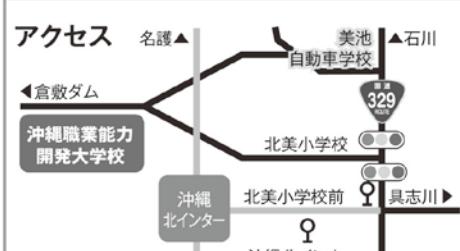
ものづくりで 豊かになろう、沖縄

講演者
国立研究開発法人
産業技術総合研究所
製造技術研究部門
名誉リサーチャー
森 和男(もりかずお)

資源小国のがれ。エネルギーや食糧を買うに必要な外貨の9割以上を稼いでいるのが自動車や電機に代表されるものづくり製品です。

地域事情も国と同じです。価値を創出し域外から価値を獲得しなければ地域が豊かにななりません。その役割で期待されるのが「ものづくり」。では、どう立ち向かえば、ものづくりで稼いでいくことができるのか。

本講演をきっかけに、地域のものづくりをこれからどのように取り組んでいったらよいかを考え、ものづくりから豊かな沖縄県に変えていく機運をさらに高めたいと思います。



沖縄北ICバス停から約1km

主催 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支局 沖縄職業能力開発大学校

沖縄ポリテックビジョン実施運営委員会 TEL.098-934-6282

後援: 沖縄県、沖縄県教育委員会、沖縄市、沖縄市教育委員会、内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局、一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄商工会議所、国立大学法人 琉球大学、沖縄工業高等専門学校、沖縄県職業能力開発協会、沖縄県工業高等学校校長協会、NHK沖縄放送局、琉球放送株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、株式会社 琉球新報社、沖縄タイムス社、公益財団法人 沖縄県産業振興公社、一般財団法人 南西地域産業活性化センター、一般社団法人 沖縄県経営者協会、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄県中小企業家同友会、公益社団法人 沖縄県工業連合会、公益社団法人 沖縄県建築士会沖縄市支部、公益社団法人 沖縄県情報産業協会、沖縄県電気工業事業組合(順不同)



工業技術センターたより

Okinawa industrial technology center

<伸びゆく沖縄・支える技術>



工業技術センター技術のご紹介

亜熱帯地域に位置する沖縄は、地理的、文化的背景から多様な微生物、薬用食材、郷土食を有しています。当センター食品・化学研究班では、沖縄の魅力を発掘し、産業利用へ繋げるための研究を行っています。今回その中の食品資源、食品加工および資源化学分野の技術についてご紹介します。これらの技術活用にご興味のある企業の方は、お問い合わせ下さい。

生物資源研究関連技術

●ライブラリ化技術

250を超える生物素材を独自に収集し、乾燥、粉末化した素材を保存しています。またこれらを利用しやすくするため、抽出しエキス化しています。このように多くの試料を収集管理したものをライブラリと呼び、用途に応じたいいろいろなライブラリを作成しています。

●機能性評価技術

生活習慣病予防、抗アレルギー、抗酸化、抗菌、美白など、天然素材を原料とした健康食品や化粧品を開発する際に、製品に価値を付与できると考えられる機能の評価を行うことができます。

●機能性成分分離、分析技術

製品の原料となる天然素材中で特定の機能を発揮している有効成分を分離、精製しその化学構造を明らかにすることができます。これにより機能性表示の際に求められる、有効成分の定量も可能になります。

●粉体加工技術

天然素材を粉末化するための乾燥、粉碎、殺菌技術を有しています。また作成した粉末を原料とした、顆粒化や錠剤化などの製品開発を支援することができます。さらに、製造した顆粒や錠剤の物理的(硬さ、摩損度、崩壊性など)、化学的(溶出性、有効成分含量)な評価も行うことができます。

生物以外の資源研究関連技術

●水資源

海水や地下水などの水資源を利用する場合の、ミネラルの分析を行うことができます。これにより、用途の開発、差別化、安全性の評価などが可能になります。

●有機系副産物、食品系廃棄物研究技術

メタン発酵などの微生物処理により、安全にまた安価に廃棄物処理を行うことができるだけではなく、副産物中の有機物を原料として発酵により有価物を生産することも可能です。メタン発酵で発生したガス類の分析はもとより、発酵生産した有価物の分析も行うことができます。

沖縄県工業技術センターは県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp (メルマガを始めています。HPより登録ができます。)

ホームページ:<http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

「オグレスビー氏工業功労者賞」候補者の募集について

公益社団法人 沖縄県工業連合会

「オグレスビー氏工業功労者賞」とは、県産業界から「沖縄産業の恩人」として敬慕されている故サムエル・C・オグレスビー氏の功績を記念して、工業功労者表彰を毎年行っています。

これに先立ち、同賞の候補者を広く募集します。

1. オグレスビー氏工業功労者賞

沖縄の工業発展に著しく功績のあった者に工業功労者賞を授与する。

例としては

- ①企業を興し成功した者
- ②新製品を開発して成功した者
- ③その経営する企業によって本県経済に大きく貢献した者
- ④人格高潔なる者
- ⑤その他

2. 募集期間 平成29年2月1日(水)～2月28日(火)

3. 表彰

公益社団法人沖縄県工業連合会 第33回定時総会(6月)の場で行います。

4. お問い合わせ

公益社団法人沖縄県工業連合会事務局 TEL.098-859-6191



沖縄産業の恩人
サムエル・C・オグレスビー
(1911～1966)

サムエル・C・オグレスビー氏は、1911(明治44)年10月25日、アメリカ合衆国バージニア州で生まれ、1933(昭和8)年、メリーランド大学博士課程を卒業します。

1942(昭和17)年米国陸軍に従軍し、1945(昭和20)年3月には、米陸軍政府将校として来沖し、その後エール大学で極東問題と日本語の研鑽を積みました。

同氏は、1950(昭和25)年3月、第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽力されました。沖縄勤務の16年間、琉球工業連合会(現沖縄県工業連合会)のよきアドバイザーとして深くかかわり多くの産業を育てました。

製糖、味噌醤油、食油、ビール、セメント、鉄筋、合板、菓子類に至る各製造業の90%は同氏の後援・指導を受けました。

1963(昭和38)年5月21日に琉球工業連合会は創立10周年を迎え、これを記念して、会員の芳志を募り、オグレスビー氏の胸像を制作することを決定しました。

やがて、胸像が完成し、翌年1964(昭和39)年12月2日、贈呈式と祝賀会が行われました。

その2年後、1966(昭和41)年12月20日、オグレスビー氏が逝去。

「沖縄に埋葬してほしい」との遺言により、泊国際墓地に埋葬されています。



オグレスビー顕彰墓碑

1967(昭和42)年オグレスビー氏の長年の功績を記念して、「オグレスビー氏産業開発基金」が設立されました。

同基金では毎年、沖縄の工業発展に著しく功績のあった方に「オグレスビー氏工業功労者賞」の授与と工業高校・沖縄高専の学生に奨学金を支給しています。



沖縄子どもの未来 県民会議

子どもは沖縄の未来を創る存在です。

しかし、1日の食事が学校給食だけの子ども。
おしゃれをしたい年頃に皆と同じような洋服の購入をガマンする子ども。
誰にも気づいてもらえず苦しい思いをしている子ども。
報われる可能性がないと思い努力することをやめてしまった子ども。
与えられたチャンスに手を伸ばすことができない子ども。
お金がなく進学をあきらめてしまった子どもたちがいます。

家庭の事情や貧困の連鎖によって、子どもの様々な可能性と選択肢が制約されていくことは決してあってはなりません。

そのためには、子どもの学びと育ちを社会全体で支え、
地域で子どもたちが安心して暮らせるよう
新たな環境を創っていく必要があります。

つながり、みんなで育もう。

公式ホームページ情報

沖縄子どもの未来県民会議 検索



公式ホームページ

- ・県民会議とは
 - ・県内支援活動の紹介
 - ・未来基金＆事業
- などさまざまな情報を掲載中！



寄付／サポーター会員の
お申込みはこちら

公式 Facebook、twitter もご覧下さい！

沖縄子どもの未来県民会議事務局

沖縄県 子ども生活福祉部
子ども未来政策課

電話 098-866-2100
FAX 098-868-2402
e-mail aa031607@pref.okinawa.lg.jp
住所 〒900-8570
沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

公益社団法人
沖縄県青少年育成県民会議

電話 098-861-3463
e-mail nobinobi@mco.ne.jp
住所 〒900-0036
沖縄県那覇市西 3-11-1

沖縄でのものづくり・物流事業を支援します！



沖縄国際物流拠点活用推進事業

内閣府では、沖縄の国際物流拠点の一層の活性化に向けて、平成29年度から新たに沖縄国際物流拠点活用推進事業を実施する予定です。本事業では、先進的かつ沖縄の特色を生かした「ものづくり事業」及び沖縄で付加価値をつける「物流事業」を総合的に支援することで、沖縄から県外・国外へ搬出するモノを増やすことを目指し、県内産業の振興を進めてまいります。

※本事業の実施については、平成29年度予算案の成立が前提となります。

補助対象事業（案）

本事業では国際物流拠点（那覇空港、那覇港、中城湾港新港地区）を活用して製品を県外へ搬出する、①先進的かつ沖縄の特色を生かした、ものづくり事業又は②沖縄で付加価値を付ける物流事業を対象とします。

（想定例）

①ものづくり事業

- 地理的優位性を活用し、アジア向けの製品を製造
- I C Tを活用して農水産物を生産し県外へ搬出
- 恒温性に着目した、精密な温度管理が必要な製造業

②物流事業

- 全国の農水産物を沖縄で加工し、アジアへ輸出
- アジア向け製品の修理拠点

補助率等（案）

○補助率：2／3（補助上限額2億円）

○補助期間：1年度限り

○補助対象経費：人件費、謝金、旅費、試作品・サービス開発費（原材料費、外注費）販路開拓費、機械設備費、賃借料、運送費、会議費、事務費

※ 土地の購入や建物の建設費は対象外です。

留意事項

補助対象事業、補助率等及びスケジュールについては、現時点での案です。公募方法を含めた正式な内容については、平成29年4月に内閣府沖縄部局のHP^{*}で公表を予定している「公募要領」でお示します。

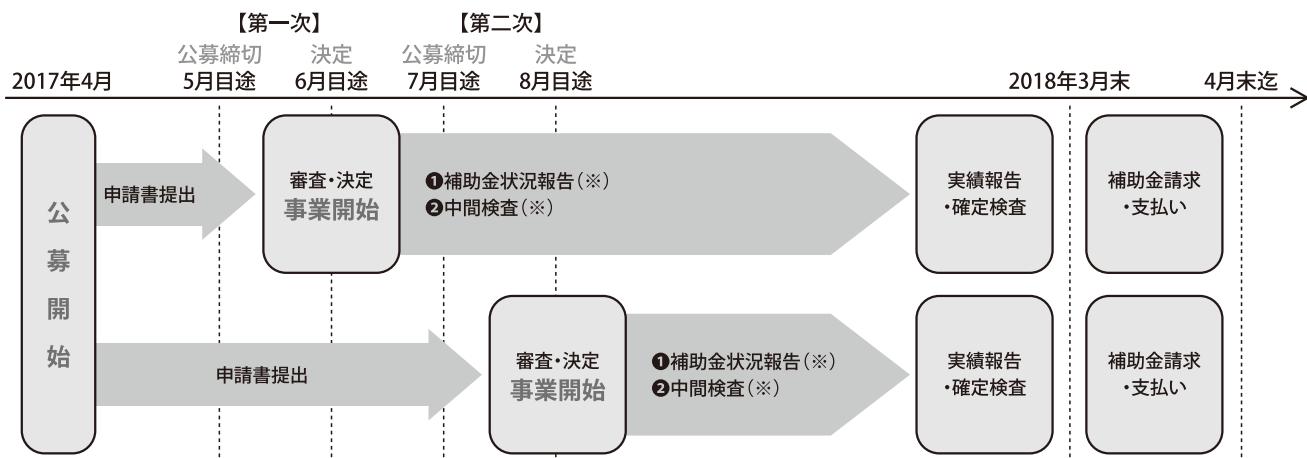
※ <http://www8.cao.go.jp/okinawa/>

スケジュール（案）

●本事業は以下のスケジュールを想定しています。

公募締切は、第一次を5月目途、第二次を7月目途として二段階設けていますが、補助期間はいづれも年度末（3月末）迄となります。

※第一次で予算額に達した場合は、第二次において採択しない場合があります。



※必要に応じて沖縄総合事務局から指示。

お問い合わせ・詳細は、

内閣府沖縄総合事務局経済産業部政策課 ☎(098)866-1726

又は 内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付産業振興担当参事官室 ☎(03)6257-1688

ものづくり取引マッチング スタート!

—製造業県内発注促進事業—

このようなお悩みはありませんか…?

- ✓ 新しい製品を製造したいけど、加工の一部をお願いできる取引先を探したい
- ✓ 現在、加工を任せている取引先があるけど、品質や納期等で課題がある

製造業の皆様に、新たな取引先をご紹介します！

コーディネーターが、みなさまのご相談をお受けし、受注企業をご紹介します。
無料でご利用できますので、お気軽にお問い合わせください。



まずは、「何を受発注したいか」ご連絡下さい！

お問合せ先



公益財団法人

沖縄県産業振興公社 融資課 製造業県内発注促進事業

Okinawa Industry Promotion Public Corporation

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831番地1 沖縄産業支援センター4階 E-mail:match@okinawa-ric.or.jp TEL:098-851-8760



「売上を上げたい」「経営を改善したい」などでお悩みの、
沖縄県の中小企業・個人事業主のみなさまへ！

沖縄県よろず支援拠点では

経営上のお悩みを抱えるみなさまのさまざまな課題に対し、解決に向けてご相談に対応いたします！
「よろず支援拠点」は国（中小企業庁）が全国に設置している無料の経営相談窓口で、何回でもご利用できます。
また、毎月サテライト（出張）相談会も開催していますので、最寄りの相談会場をご活用下さい。
少しでも自社の経営で気になること・お悩みのことがありましたら、おひとりでは悩まず、ぜひご相談下さい。

地区名	沖縄県よろず支援拠点 開催月日（日程）及び相談会場
那覇市	毎週月曜日から金曜日(9:00～19:00) 沖縄産業支援センター4階 (那覇市小禄1831-1 ((公財)沖縄県産業振興公社内))
浦添市	毎週土曜日(9:00～17:00) P's SQUARE 3階(浦添市西原2-4-1 ((株)ついだスクエア内))
宮古島	毎月第2金曜日(9:00～17:00) 宮古島市ミライヘセンター(宮古島市平良字下里1(公設市場2階東側))
石垣島	毎月第3金曜日(10:00～17:00) 石垣市商工会館(石垣市浜崎町1-1-4)
名護市	毎月第4金曜日(9:00～17:00) 名護市産業支援センター2階会議室(名護市大中1-19-24)
沖縄市	偶数月の第3木曜日(9:00～17:00) コザ信用金庫本店(沖縄市上地2-10-1)

様々な専門分野のコーディネーターが、
みなさまのご相談をお受けし、親身にサポートいたします。

チーフコーディネーター

上地 哲：売上拡大・事業再生・商品開発

コーディネーター

赤嶺輝昌：販路開拓
野口正幸：商品開発・県外販路
嘉数 純：広報・ブランディング
伊波尚子：起業支援・人材育成
林 玲：海外貿易、越境EC
豊嶋則夫：デザイン、WEB、商品開発
畠山善行：WEB集客
仲宗根功：Eコマース
金子 泉：WEBセキュリティー
山城あゆみ：経営戦略
大城 剛：事業計画・経営改善
平良 豊：会計業務・経営改善
遠山康英：財務・税務

ご予約やもう少し詳しく知りたい方は下記までご連絡下さい。

TEL.098-851-8460 (予約担当:上原、城間)

メール yorozu@okinawa-ric.or.jp

ホームページ <http://www.yorozu.okinawa>

沖縄県よろず支援拠点

【(公財)沖縄県産業振興公社】
那覇市小禄1831-1 沖縄産業支援センター4階



島も、人も、結ぶチカラ。



私たちは、約束します。

本島・離島を結び、そこにある暮らしと経済を結び、

一人ひとりの末永い幸せを結ぶことを。

すべては沖縄のために。



地域とともに、地域のために

沖縄電力